

令和2年2月15日(月) 発行



商大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827

商大附高展 2020.10.22(Thu)～10.23(Fri)



第87号
2021・2

挨拶



父母の会会長
細谷 武 司

新年明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎えるにあたり皆様にご挨拶申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃より父母の会の活動にご理解ご協力を受け賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染が世界規模で拡大する中で、新しい年を迎えることになりました。日本においても昨年末からの第三波において毎日の感染者が五〇〇〇人を超えようかといった状況です。今年も昨年に引き続き対策に追われる一年になるかと思いますが、皆様には、ご自身とご家族を守り、また周囲の大切な方々を守りながら健やかな日々を過ごして頂きたいと思っております。そのために、皆様お

一人お一人が新型コロナウイルスの感染防止や拡大阻止のためにできることを今一度確認して、コロナ禍を共に乗り越えて行きたいと願っております。

そんな中で今年度の商大附高行事で印象に残っているものといえば、商大附高展です。感染拡大の観点から異例ではありますが、生徒のみの開催となりました。本来であれば会員の皆様方、地域の皆様方をお呼びして盛大に開催出来ればと思いましたが、何より商大附高展が開催できましたことは、私自身大変喜ばしく思った次第であります。自分は少しの間、附高展に参加させていただきましたが、その時の生徒たち一人一人の笑顔で、またスマホ等の端末が特別に許可になったせいでしょうか、皆さん、写真を撮り合いながら和気あいあい楽しそうにしていたのをよく覚えております。先行きの見えないこんな日々であっても生徒たちは主体的に考え判断し自らの方法で商大附高展を盛り上げている姿に、私自身驚き、また生徒たちの逞しささを感じ取ることができました。

最後になりますが、令和二年度

も残りわずかとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響がまだ見通せない中で、既存の感染防止対策の強化と新たな学校生活の取り組み等、同時に追求するのは容易なことではありません。ですが私たち、生徒たちは必ず出来ると思っております。

この一年、皆様方には、健康にはくれぐれも留意していただき元気に活躍されることを願います。皆様と皆様のご家族のご健勝とご活躍を祈念申し上げますと共に商大附の益々の発展を心よりお祈り申し上げます、私の新年の挨拶とさせていただきます。

挨拶



校長
安 齊 義 宏

新年あけましておめでとうございます。父母の会会員の皆様には、平素より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り感謝申

し上げます。ご存じの通り新型コロナウイルスの猛威は留まることを知らず、その対策に世界中が苦慮しているところであります。

今年の干支は「丑」であります。牛は昔から食料や労働力として人間の身近にある動物でした。牛は勤勉に働く姿から「誠実」を象徴し、また神の使いとして太宰府天満宮など牛の像が祀られています。多くのヒンドゥ教徒のいるインドでは神として大切にされています。以前にインドを訪れた時、道路をふさぐ牛が立ち去るまで、タクシードロップと待つていたことを思い出します。今年はこの神に近い牛が干支であれば、縁起の良い年になってくれることを期待します。そして牛のように一歩ずつ着実に物事を進めていき、実を結ぶ年になればと思います。

さて、一年を振り返りますと、総会や学年学級懇談会など父母の会行事も中止となり会員の皆様にお会いする機会も減ってしまい、とても残念に感じています。三年生のご父母においては卒業後もどうか引き続き本校を見守り、応援していただきますようお願いいたします。一・二年生はさらに子供

さんの成長のため、教職員と共に
 父母の会活動に取り組んでいた
 きますようお願いいたします。今
 までは違う日常生活も二年目に
 入ります。先の見えない日々にな
 不安やいらだちも覚える時がありま
 す。しかし、これからも続くニュー
 ノーマルな生活の中で先ずは自分
 の行動と考えを変えていくことが
 大切だと考えます。「主體変容」
 ということを改めて意識してい
 たいと思います。これは、パソニッ
 ク創業者、松下幸之助氏がよく使っ
 ていた言葉です。自分に気づき、
 自分を変えることが相手を変える
 ということです。私たち大人はも
 ちろんですが、これからの社会を
 生き抜く生徒たちはますます予測
 不可能な時代になると思われます。
 その時も他者を責めたり、他に言
 い訳を求めたりするのではなくま
 ず自分をふり返り、自分をコント
 ロールし自分を変えていくことが
 「主體変容」の第一歩であり、他
 者をも変えていくことだと考えま
 す。子どもたちには下を向かず、
 前を見て牛の如くゆったりと着実
 に歩んでいってほしいと願います。
 残り少ない令和二年度も健康に気
 を付けながら学習や部活動に取り

組み、立派に胸を張って卒業や進
 級していくことを願っています。
 最後に会員の皆様には引き続き本
 校教育活動にご理解ご協力を賜り
 ますようお願い申し上げますと共
 に、会員皆様のご健勝とご多幸、
 そして子どもたちのさらなる成長
 を祈念申し上げ、新年の挨拶とさ
 せていただきます。

本部役員挨拶

「今年をふり返って」

副会長 平澤維久

新年明けましておめでとうござ
 います。今年度は新型コロナウイルス
 ルスの流行で歴史的な一年となっ
 てしまいました。予定されていた
 父母の会活動、行事等はほぼ中止
 になり何もできない空白の一年で
 した。平成から令和になり大変な
 時代の変化が起こりました。人と
 接してはいけない、外出の自粛、
 高校生活では授業のオンライン化、
 部活動が制限されるなど何もかも
 が今まで体験したことがない一年
 でした。この先もウイルスとの共

存が続き、ワクチンが使用できる
 までは今までのような生活には戻
 らないと思います。生徒達には悲
 観せず、ウイルスにどう対応して
 行くかを考え前向きに生活しても
 らいたいです。本当に大変な時代
 ですが、商大附の益々の発展を心
 よりお祈り申し上げます。

副会長 若林啓友

コロナ禍の中、健やかに新春を
 お迎えの事とお慶び申し上げます。
 会員の皆さまにおかれましては
 健やかに新年を迎えられ、志を新
 たにすでに始動されていらっしゃる
 事と拝察致します。

一年を振り返って思う事は、日
 常の何気ない時間を奪われ、とて
 も寂しい思いをしたと思います。
 私達親も「あたりまえに過ごして
 いた何気ない時間」が、どれだけ
 大切なかを実感しています。同
 時に「人と人との繋がりの大切さ」
 を感じています。オンライン授業
 等が急速に普及していますが、や
 はり直接会ってコミュニケーション
 をとるのも大切な事です。
 結びに、商大附高の益々の発展
 と皆様のご健康とご多幸を心より
 お祈り申し上げます。

副会長 中嶋勝利

新年明けましておめでとうござ
 います。父母の会の皆様におかれ
 ましては、輝かしく希望に満ちた
 新春をお迎えのことと心よりお慶
 び申し上げます。コロナ禍による
 状況は、一段と厳しい、生徒の学
 校生活を柔軟に対応して頂いて
 いる教職員並び事務局の方々に深
 く感謝申し上げます。この一年を
 振り返り、当たり前の行事が開催
 出来ずも、乗り越えた経験は、大
 きな力と自信に繋がるはずで
 自主・自立の精神は、未来を生き
 抜くためには、大事な教えるなる
 と感じております。

今後も、本部役員としての役割
 を次年度にも生かし、積極的に行
 事に参加し、協力させて頂きたい
 所存です。

最後に早期コロナ禍の収束、商
 大附高の益々の発展と皆様のご健
 康とご多幸を心よりお祈り申し上
 げます。

書記 今井啓子

新年明けましておめでとうござ
 います。皆様におかれましては健
 やかに新年を迎えられたこととお

慶び申し上げます。

今年を振り返ってみますと、”新型コロナ”で始まり、終わりのない”新型コロナ”。世界中の誰もが経験をした事のない、目に見えぬ恐ろしい”ウイルス”いつ終止がつかのか心配です。

学校においては、色々な行事が無くなり役員としてのお手伝いもなく申し訳ない気持ちで一杯です。子供達、とくに受験生のみならず、色々な工夫をしてコロナに負けない日々を送っている事と思います。

残りわずかな大切な高校生活を一生の宝物にしてほしいと思います。コロナに負けないで頑張ってください。

最後になりましたが、子供達に”勇氣”、”信念”、”希望”の三つの言葉を心に刻み、羽ばたいてください。

そして、皆様のご健勝と、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

書記 井堀 尊義

コロナウイルスが世界中を震撼させている今。教室では肩を寄せ大声で笑い、部活動に励み、感染を気にせずランチタイムを過ごし

たい高校生にとって、どんな日々を過ごしているのか。心配は絶えません。多くの高校で行事が中止される中、生徒自身が考え、万全の対策を講じて商大附高展が行われました。マスクからこぼれる商大附高生の笑顔がとても印象的です。商大附高展を盛り上げるために先生方の歌声も例年にも増して白熱していたと聞いております。

安齊校長先生を始め、先生方には、安全を確保してくださることに感謝の気持ちでいっぱいです。一年間、本部役員として何のお役にも立てませんでした。今後も微力ながら協力させて頂くとともに、商大附高の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

会計 茂木 幸恵

新年明けましておめでとうございませう。今年度は、先生方、父母の会会員の皆様、生徒の皆さんにとつて、今までにない一年であったと思ひます。

コロナ感染拡大防止の為、殆どの学校行事が中止となりました。そんな中、十月に商大附高展が開催されました。同日、今年度初めての父母の会役員会があり、校内

を見学させて頂きました。それぞれの展示や催し物、模擬店等前々から準備が進められ、みんなで協力し合つて取り組んできたことが感じられました。生徒達の高校生活の良い思い出となったことでしょう。校長先生はじめ、先生方に感謝致します。

最後になりましたが、商大附高の益々の発展、皆様のご健康と一日も早く落ち着いた生活を取り戻せるよう心よりお祈り申し上げます。

会計 小柏 千亜紀

新年明けましておめでとうございませう。今年度は、先生方、父母の会会員の皆様、生徒の皆さんにとつて、今までにない一年であったと思ひます。

コロナ感染拡大防止の為、殆どの学校行事が中止となりました。そんな中、十月に商大附高展が開催されました。同日、今年度初めての父母の会役員会があり、校内

非常に大きな変化があった一年となりました。

緊急事態宣言の発令後は、学校の休校に始まり、各行事、各部活動行事等の自粛や中止が相次ぐ中、会員の皆様、教職員の皆様には、ご尽力いただきましたことに感謝致します。

唯一できた行事の一つに「商大附高展」が実施され、各学年では思い思いの時間を過ごす事ができたのではないのでしょうか。

今年度も残りわずかとなりましたが、有意義な学校生活を送れるよう、微力ながら協力させていただきたいと思ひます。

最後になりましたが、皆様のご多幸と商大附高の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



茂木 輝章

卒業おめでとうございませう。

この春より高崎を離れて、独り暮らしが始まります。本人が一番大変だと思ひますが親としても心配なことも多々あります。

十八歳の春、新しい環境で学業と私生活、もしかしたらサークルや部活動を始めるかもしれませう。時にはアルバイトをしながら新生活を過ごすことでしょう。

これからの四年間は、自立かつ自律した人間になるため、有効活

用してほしいと考えます。世の中はそう甘くありません。「生き馬の目を抜く取引社会」においては、誰かの無知に付け込んで利益を得ようとする者が少なからずいます。特に二十歳前後の時期は色々な企業や団体からの勧誘を受けることが多くなります。そんなときは、「本当に自分に必要か」、「今これは必要なのか」、「必要だとしても、条件は妥当か」など自分で考え行動することになります。それができるのが、自立かつ自律した人間です。

高校進学後の三年間、自発的に目標を定め、学業に取り組む姿勢を見て、親としてこの子なら大学生活四年間を高崎から離れ、独り暮らしをさせても大丈夫と確信するモノがあり、東京行きを認めることにしました。

次の四年間で更にどれだけ成長してくれるのか、期待しています。頑張ってください。

唐澤美香

沢山のワクワクや不安のなかでの入学。早いものでもう卒業ですね。小学二年生から中学三年生まで頑張っていたスポーツを辞め

「みんなにサポートしてもらってバレーをやってきたから今度は、みんなをサポートする側になりたい」と言ってバスケット部のマネージャーに入学しましたね。初めての経験ばかりで戸惑いもあつたでしょう。良く三年間頑張りましたね。その経験は、これからのあなたの人生にきつと役立ちます。四月からは、新たな挑戦が始まりますね。きつと今まで以上に辛いこと・苦しいこと・理不尽なこと・悔しいことが増えると思います。でもきつと、あなたなら最後まで戦えます。私は、その戦いを最後まで応援します。時には休憩しながらあと少し一緒に頑張りましたよ。

はもつと凄いな事になります。覚えてください。人間として生まれた事に大感謝し続ける事。あなた一人では何もできません。全て過ぎた人、今ある人、未来に縁する人に教えて頂き、支えて頂き、助けて頂いて生かされているのです。特に、様々な事で、ひどいと思つた人、大嫌いだつた人等々の人達に感謝してください。そうです。その様にされたらどう言う心になるのか教えてくれたのですから・・・大感謝です。最後に・・・

そんな色々不安の中、学校生活を過ごす事が出来たのは、常に前を向かせてくれた良い仲間たちと先生方の手厚いサポートと指導をいただきながら、目標を達成する事が出来ました。

高校を卒業して次のステージでは自身で掲げた目標へ向かって段階を踏んでいってもらいたいと思います。そして高校生活で学んだ色々な事を思い出し、困難に直面した時に乗り切ってください。

最後になりますが、今までお世話になりました先生方、友達に親子共々心より感謝致します。

小倉ちはる

最後になりましたが長女のとてから親子共々先生方には大変お世話になりました。学校関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。卒業おめでとう。

石附徳光

「盲亀浮木の例え」の教えの如く、生物学的にも一億円の宝くじが百万回連続で当たり、それが六十兆回当たる確率が、人間として生まれる確率です。さらに私達父母の子供として生まれてくる確率

新井美紀

高校生活も、もう少して終わりですね。三年間は長いようで過ぎて去ってしまうとあつという間でした。

二年生の二月頃から新型コロナウイルスの流行の為に今までの当たり前にしていた生活と全く違った生活を強いられる事になりました。

卒業おめでとう。

小学二年から始めた空手道、何度か辞めたいと言つた事もありましたが、高校まで続けてきたことは、これからの長い人生の糧となることと思えます。残念ながら、高校最後のインターハイが新型コロナウイルスの為に中止になってしまい、悔しかったことでしょう。けれど、あなたは「無駄な経験なんてない、次は無いかも言うことを常に考え、全力で行動しろ」ということを教えられた。」と言

ました。その言葉を聞いて、今までの努力や経験が確実にあなたの成長に繋がっていると感じました。最後に、今までご指導いただいた先生方や友人、学校関係者の皆様に感謝の気持ちを忘れずに、次のステージでも全力で頑張ってください。

三年間たくさんの思い出をありがとうございました。これからもずっと応援しています。

林 和弘

卒業おめでとう。

三年間の高校生活を間もなく終えようとしています。高校へ入学してからの三年間は長い様ででしょうか？県外からの通学だったので、色々な面で心配しておりましたが、今では信頼の出来る多くの友達も出来て、有意義な高校生活を送れたのではないかと思います。高校生活では沢山の経験をし、色々な事を学んだと思います。

四月からは、将来の目標に向かって新たな道がスタートします。次のステージでは、高校生活での経験を活かし、日々の努力を惜しまず頑張ってください。

最後になりますが、三年間ご指導頂きました先生方、学校関係者の皆様に心より感謝申し上げます。有難う御座いました。

進路指導部より

【進学状況】

今年度の12月時点での入試結果は、国公立大学の総合型選抜・学校推薦型選抜での合格者が8名でした。その内訳は、群馬大学1名、信州大学1名、富山大学1名、佐賀大学1名、群馬県立県民健康科学大学1名、高崎経済大学2名、前橋工科大学1名となっています。昨年度の10名からは減少しましたが、今年度は昨年度に比べ在籍数が110名以上少ないことが原因として考えられます。総合型選抜で国立大学（富山大学都市デザイン学部・佐賀大学教育学部）に2名合格者が出たこと（特別進学コース（理系）や、信州大学（繊維学部）や前橋工科大学（工学部）に推薦合格者が出たこと（特別進学選抜コース（理系））などが、主なトピックスとして挙げられます。国公立大

令和2年度 進路希望調査（進学志望）

	1学年 在籍 460						2学年 在籍 451						3学年 在籍 412						
	大学		短大		専門		大学		短大		専門		大学		短大		専門		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
文系	文・人文	3	5	0	0	0	0	3	7	0	0	0	1	3	10	0	0	0	0
	社会・国際	4	15	1	1	0	0	1	12	0	3	0	3	5	18	0	2	0	5
	法・政治	3	2	0	0	0	0	5	4	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1
	教育	3	6	0	1	0	0	3	6	0	1	0	0	0	9	0	1	0	0
	経済・経営・商	18	8	0	3	2	1	17	9	0	5	0	0	24	12	0	3	2	1
	芸術・スポーツ	14	7	0	1	4	3	9	3	0	1	3	13	2	8	0	1	4	9
	家政・生活	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	2
	総合・情報・人間	3	6	0	0	3	0	7	3	0	0	0	1	6	4	0	1	8	4
	幼児教育・保育	1	3	0	7	1	7	0	5	0	11	0	2	0	3	0	4	0	6
	理容・美容	1	0	0	0	2	23	0	2	0	1	1	18	0	0	0	3	1	13
医療・福祉	4	9	0	2	3	6	2	5	0	3	4	7	1	4	0	3	3	9	
その他	3	0	0	1	3	9	0	3	0	4	3	9	2	4	0	1	6	16	
未定	11	15	0	0	2	3	7	13	0	6	2	3	7	9	1	0	2	3	
理系	理学・工学	19	5	0	0	5	0	21	2	0	0	5	0	27	2	0	0	2	0
	農学	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	医・歯・薬	2	5	1	0	0	2	5	4	0	1	0	2	2	2	0	1	0	2
	教育	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	医療（歯科・臨床）	1	1	0	0	0	1	4	10	0	0	0	1	5	4	0	2	0	9
	看護・保健	3	11	0	3	0	9	0	16	0	0	2	11	0	16	0	0	1	10
	動物	2	2	0	0	1	10	3	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	5
	その他	0	3	0	1	1	2	0	5	0	0	1	1	2	3	0	0	2	2
未定	4	6	1	2	1	2	16	9	1	0	1	3	4	4	0	1	0	0	
未定	20	11	0	2	3	7	6	9	1	9	0	4	11	1	0	3	0	0	
合計	122	121	3	24	32	85	109	131	2	46	23	82	105	116	1	27	32	97	

進路希望者は、2月25日（国公立大前期試験）からの本番に向けて計画的かつ地道に努力を続け、一人でも多くの生徒が合格の栄冠を勝ち取ってくれることを祈っています。

一方、私立大学は114名、短期大学は31名、専門学校は17名が、現時点で合格しています。昨年度と比較しますと大学で30名、短期大学で20名、専門学校で27名と、全ての校種において大幅に減少しています。これも在籍数の少なさが原因といえるでしょう。青山学院大学の法学部に学校推薦型選抜で合格したこと（進学コース（文系）

が、主なトピックとして挙げられます。進学先未定者は、コロナ対策を万全にし、1月からの本番に備えてほしいと思います。

また、高崎商科大学・短期大学の1期系列校推薦(専願の内部推薦)が11月21日に行われ、大学21名(会計学科2名 経営学科19名)・短期大学部16名の計37名が合格しました。昨年度が、大学22名・短期大学部17名の計39名でしたから、在籍数は大幅に少ないにもかかわらず、志望者がほとんど変わらないという結果になっています。特に短期大学部では、評定特待生I種が2人、II種が2人と、優秀な生徒が数多く内部進学することになりました。

合格内定者は、大学等、進路先からの課題等に前向きに取り組むとともに、4月までの時間を有効に活用し、高等教育を受けるための準備をしてほしいと思います。

コロナに始まりコロナに終わりつつある2020年度ですが、12月末現在でも収束するどころか、感染者が日々増え続けている状況です。総合型選抜開始日の度重なる後ろ倒しに始まり、面接試験のオンライン化や入試内容の変更な

ど、まったく先が見通せない不安定な状態が続いています。

このように、不確実で見通しの悪い現代にこそ必要とされるのが、全ての教科の基礎となる「国語力」と、情報分析能力です。授業や日々の勉学を通じて国語力を磨き、年々変化し複雑化する受験情報を収集・分析し、来るべき受験に備えていただきたいと思います。「彼を知り己を知れば百戦殆うからず。(知彼知己、百戦不殆。)」の精神で、進路実現に向け努力することを望みます。

(進学指導主事・深澤 功)

【就職状況】

群馬県労働局では、令和2年10月末現在における来春の高校新卒者の求人・求職・内定の状況を取りまとめました。求人倍率は、前年同期(2・89倍)を0・21

ポイント下回りましたが、2・68倍となり平成8年3月卒業者以降、3番目に高い水準になりました。しかし産業別に見るとほとんどの産業で減少しています。就職内定率は、同年10月末(85・2%)に比べ、18・8ポイント減

となっており、採用選考開始月末前年9月末(68・9%)と比較すると、2・5ポイント減となっています。採用内定率は、66・4%となっており、60%台をとりあえず維持している状態です。

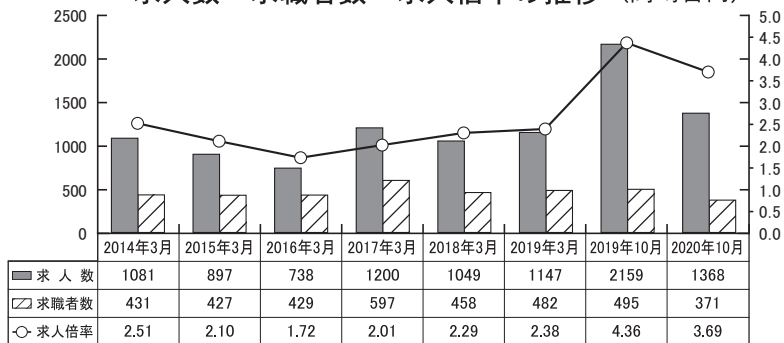
求職者数は前年10月末(3・212人)に比べ14・9%減となっています。本校へ来る求人票の数も、県内については昨年、12月初旬時点で27社でしたが、同時期において191社となり激減しました。

来年は、今年度の実績で企業は求人を考えるため、コロナの関係でさらに減少すると思われます。就職希望者はこの現実を知り、対策を考えてゆくべきです。

ところで、高崎管内の就職希望者数は10月末時点で371人、求人数1368、求人倍率3・69倍となっています。これも昨年より下回っています。別表を参考にしてください。

例年、求人票は7月1日以降学校に配布され、9月16日から就職試験が始まります。しかし今年も新型コロナウイルス感染症の影響で1か月遅い10月16日から選考、内定開始となりました。受験生はしっかり準備をして試験に臨みま

求人数・求職者数・求人倍率の推移 (高崎管内)



したが、残念ながら半分近くが不採用という結果になりました。この生徒たちは、今年も「がんばれ高校生」が開催されないため、新たに学校に来る求人や、WEB検索、ハローワークに行き紹介して

もらうなどして、少しずつ12月初旬には内定者が出てきています。しかしいまだに決まっていない生徒も数名いるため、努力しているところと見えます。不合格になる生徒たちの原因の一位は、面接試験でのコミュニケーション不足でした。

対策として、もう一度模擬面接を行い基本に返り、試験会場への入り方、出方、ノックの仕方、礼の角度、質問の受け答え等、再確認をしています。また相談した上で職種の変更をしたり、ハローワークや人材センターに相談しアドバイスをもらうなど、多方面から指導をしたところ、内定につながるケースが出てきました。このまま全員が進路達成できるよう指導部としては努力して行きたいと思っています。

職種としては、高校生は製造業の求人が多いので一番多く、次にサービス、販売、今年も事務は人気で希望が多く出ましたが、不採用のケースが多かったようです。もともと採用数が少ないのも原因です。また今年も病院、介護関係が多く来ましたが希望者は数名でした。

自分に合った職種を探し、さら

に具体的な会社を選び出すことは決して簡単なことではありません。しかも決められた時間内に決断しなければならぬわけですから。そのためにも、就職指導部では、早い時期から就職希望者に具体的な内容の指導を行って行きたいと思っています。

高校生の就職の選考は一人一社制ですが、今年は11月1日以降、一人二社までの応募が可能となりました。今年はすべてが一月遅いため、12月に入ると、企業の募集は少なくなりさらに年を越して1月の声を聞くと、さらに求人は少なくなると思われます。

就職するにあたって、迷ったり、どんな職種が自分に向いているのか悩んだりしている時は、是非、就職指導担当に来てもらえれば、必ず希望の企業が見つかるまでサポートしますし、同時に模擬面接、試験対策も指導します。どうぞ遠慮なく相談してください。

最後に、企業に採用されるためには、あらためて、言葉づかいや身だしなみなどを注意して欲しいと思います。また、体調管理、言葉遣い、マナーや常識についても同様です。先ほども触れましたが

企業にとって一番重要視される「コミュニケーションの取り方」についても普段から身に着けておくことが、とても大切です。

(職業指導主事 水上 浩)

生活指導部より

「コロナへの覚悟」

想定外の出来事だらけの令和二年が終わり、新年を迎えました。

この間、通常の授業はもちろんですが、卒業式・入学式・学園祭・各種大会等々影響を受けない学校行事は一つとしてありませんでした。ここに来てコロナは収束どころかさらなる猛威をふるい、この先の学校生活に立ちどころかついていきません。しかし、高校生活の三年間は待つことも先延ばしにもできません。

今、できる精一杯のことは何かということに常に考え続けて前に進むしかないのです。例えば秋に文化祭が行われました。当然コロナ禍ということで生徒も職員も一緒に知恵を絞って、様々な工夫を凝らし何とか満足いく内容となり

ました。それまでコロナにやられてばかりで悔しい思いばかりでしたが、この経験に乗じて生徒ももちろんですが、我々教師もコロナに對峙すべき覚悟と自信のようなものを学びました。

ご家庭に於かれましても様々な対策をしながら、過ごされてきたことと思います。様々な学校行事・各種大会の中止にしても我がことのようにお子さんと一緒に悔しがったり、励ましたりして悔しがったり、励ましたりして来たことでしょうか。特に三年生での大会中止にはやりきれない思いも大きかったと思います。その思いはどこにもぶつけることができず、唯々悔しさをかみしめるしか無かったかもしれません。

何もしてあげられない、我々も保護者の方も。ただ一緒に悔しがったり、どうしたらいいか考えたり、今出来ることは何なのかを寄り添いながら、前を向いて歩み続ける。それを積み重ねていくしか無いと思います。かけがえのない高校生活の三年間、一番近くで今出来るベストを尽くしながら子どもたちを見守り続けていきましよう。

(生徒指導主事 田沼稔夫)

令和元年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

令和元年度決算につきましては、令和2年5月28日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に続きこれまで過去18年間「Aランクの状態」(正常状態)に位置しており、財政基盤は安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その期末を明らかにする書類です。

令和元年度の資金収支状況について、収入は前年度繰越支払資金の1,611,529千円を加え、合計で4,672,535千円となり、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入、受取利息・配当金収入及び前受金収入等の

各収入で増加しましたが、資金収入調整勘定等の減少により、予算に対しては83,311千円の減少となりました。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等の各支出が減少したことで、翌年度繰越支払資金は予算に対し20,922千円増加して、1,679,514千円となり、昨年からは67,985千円の増加となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,520,981,860	1,521,291,550	△ 309,690
手数料収入	53,118,440	56,098,910	△ 2,980,470
寄附金収入	20,675,000	20,998,000	△ 323,000
補助金収入	758,250,000	774,163,070	△ 15,913,070
資産売却収入	461,956,000	461,956,000	0
付随事業・収益事業収入	24,041,000	22,389,270	1,651,730
受取利息・配当金収入	19,250,536	21,017,042	△ 1,766,506
雑収入	100,157,705	100,753,312	△ 595,607
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	303,000,000	312,379,000	△ 9,379,000
その他の収入	181,917,140	212,588,993	△ 30,671,853
資金収入調整勘定	△ 299,030,500	△ 442,629,663	143,599,163
前年度繰越支払資金	1,611,529,518	1,611,529,518	
収入の部 合 計	4,755,846,699	4,672,535,002	83,311,697
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,369,064,641	1,366,146,010	2,918,631
教育研究経費支出	632,986,107	621,313,042	11,673,065
管理経費支出	155,508,910	143,805,646	11,703,264
借入金等利息支出	4,330,900	4,330,900	0
借入金等返済支出	91,090,000	91,090,000	0
施設関係支出	134,272,968	133,212,914	1,060,054
設備関係支出	31,824,690	27,951,051	3,873,639
資産運用支出	612,126,766	612,126,766	0
その他の支出	77,767,077	77,767,077	0
(予備費)	6,982,454		6,982,454
資金支出調整勘定	△ 18,699,502	△ 84,722,921	66,023,419
翌年度繰越支払資金	1,658,591,688	1,679,514,517	△ 20,922,829
支出の部 合 計	4,755,846,699	4,672,535,002	83,311,697

② 事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、その年度の「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」及び「前記二つ以外の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入額を控除したその年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにして、学校法人の経営状況を把握するための書類です。

令和元年度の事業活動収入は、予算に対して20,908千円増の2,530,372千円、事業活動支出は予算に対して56,454千円減の2,390,960千円で、基本金組入前当年度収支差額は139,412千円の収入超過となりました。また、施設・設備の整備や育英基金等の基本金組入額

の合計が154,688千円となり、基本金組入後の当年度収支差額は15,276千円の支出超過となりました。

これにより、前年度繰越収支差額の69,522千円を加え、翌年度繰越収支差額は84,798千円の支出超過となりました。

また、単年度の収支状況の指標となる経常収支差額(=経常収入(教育活動収入計+教育活動外収入計)-経常支出(教育活動支出計+教育活動外支出計))は、126,105千円の収入超過となり、経営判断指標となる経常収支差額比率(経常収支差額/経常収入)も「正常状態」の値となっています。

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,520,981,860	1,521,291,550	△ 309,690
		手数料	53,118,440	56,098,910	△ 2,980,470
		寄附金	13,595,000	14,798,974	△ 1,203,974
		経常費等補助金	758,250,000	771,093,070	△ 12,843,070
		付随事業収入	24,041,000	22,389,270	1,651,730
	雑収入	100,157,705	100,753,312	△ 595,607	
	教育活動収入計	2,470,144,005	2,486,425,086	△ 16,281,081	
	支出の部	人件費	1,374,921,407	1,372,002,776	2,918,631
		教育研究経費	856,990,406	845,881,652	11,108,754
		管理経費	164,864,780	153,286,385	11,578,395
徴収不能額等		5,835,000	5,835,000	0	
教育活動支出計	2,402,611,593	2,377,005,813	25,605,780		
教育活動収支差額		67,532,412	109,419,273	△ 41,886,861	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	19,250,536	21,017,042	△ 1,766,506
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	19,250,536	21,017,042	△ 1,766,506
	支出の部	借入金等利息	4,330,900	4,330,900	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	4,330,900	4,330,900	0
教育活動外収支差額		14,919,636	16,686,142	△ 1,766,506	
経常収支差額		82,452,048	126,105,415	△ 43,653,367	
特別収支	収入の部	資産売却差額	11,955,999	11,955,999	0
		その他の特別収入	8,114,000	10,974,638	△ 2,860,638
		特別収入計	20,069,999	22,930,637	△ 2,860,638
	支出の部	資産処分差額	9,623,953	9,623,953	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	9,623,953	9,623,953	0
特別収支差額		10,446,046	13,306,684	△ 2,860,638	
〔予備費〕		30,848,793		30,848,793	
基本金組入前当年度収支差額		62,049,301	139,412,099	△ 77,362,798	
基本金組入額合計		△ 196,573,282	△ 154,688,424	△ 41,884,858	
当年度収支差額		△ 134,523,981	△ 15,276,325	△ 119,247,656	
前年度繰越収支差額		△ 69,521,786	△ 69,521,786	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 204,045,767	△ 84,798,111	△ 119,247,656	
事業活動収入計		2,509,464,540	2,530,372,765	△ 20,908,225	
事業活動支出計		2,447,415,239	2,390,960,666	56,454,573	

- ・教育活動収支は、教育研究活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・教育活動外収支は、経常的な収支の内、財務活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・特別収支は、資産の売却・処分、施設設備寄付金(含む現物寄付)、施設・設備に対する補助金等の臨時的な収入・支出を区分したものです。

③ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

令和元年度末の総資産は、前年度末に比較して82,547千円の増加となり、本年度末11,203,722千円となりました。

資産の部では、「有形固定資産」が大学・短大の研究室空調設備更新及びネットワークサーバの更新等や高校のWi-Fi設備増設やブロック塀改修等、幼稚園の園地購入や園舎改修工事等により資産の増加がありました。合計では前年度に比べ76,117千円の減少となりました。「特定資産」では育英基金や周年事業資産、施設設備拡充資産等への増加により前年度に比べ112,126千円の増加、「その他の固定資産」では有価証券の減少等により前年度に比べ54,130千円減少して、「固定資産」全体では、本年度末9,374,490千円となり、前年度より18,121千円減少しました。

また、「流動資産」は、学生生徒等納付金や補助金の増加に伴い現金預金等が増加したことから、前年度

に比べ100,669千円増加し、本年度末1,829,231千円となりました。

負債の部では、「固定負債」が785,340千円で、日本私立学校振興・共済事業団からの長期借入金が増加したことにより前年度に比べ90,295千円減少し、「流動負債」は508,209千円で、前年度に比べ33,430千円増加しました。この結果、総負債は、前年度末に比較して56,864千円の減少となり、本年度末1,293,550千円となりました。

また、純資産の部では、「基本金」が第1号、第3号の基本金で組入れが行われた結果、合計で9,994,969千円となり、前年度に比べ154,688千円増加しました。「繰越収支差額」は15,276千円減少し、前年度末の繰越支出超過額69,522千円と合わせて、本年度末の繰越収支差額は84,798千円の支出超過となりました。

これらの結果、純資産の合計(正味財産)は9,910,171千円となり、対前年度で139,412千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,374,490,740	9,392,612,638	△ 18,121,898
有形固定資産	7,649,731,457	7,725,849,372	△ 76,117,915
特定資産	496,591,088	384,464,322	112,126,766
その他の固定資産	1,228,168,195	1,282,298,944	△ 54,130,749
流動資産	1,829,231,287	1,728,562,005	100,669,282
資産の部合計	11,203,722,027	11,121,174,643	82,547,384
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	785,340,773	875,636,183	△ 90,295,410
流動負債	508,209,999	474,779,304	33,430,695
負債の部合計	1,293,550,772	1,350,415,487	△ 56,864,715
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	9,994,969,366	9,840,280,942	154,688,424
第1号基本金	9,783,032,735	9,629,344,311	153,688,424
第3号基本金	56,936,631	55,936,631	1,000,000
第4号基本金	155,000,000	155,000,000	0
繰越収支差額	△ 84,798,111	△ 69,521,786	△ 15,276,325
純資産の部合計	9,910,171,255	9,770,759,156	139,412,099
負債及び純資産の部合計	11,203,722,027	11,121,174,643	82,547,384





- ★ 1 日 目
 - ステージ企画
 - ・ 歌うま
 - ・ クイズ
 - クラス展示
 - 模擬店
- ★ 2 日 目
 - モニター
 - ・ 女装コンテスト
 - ・ イントロ
 - 仮装

商大附高展

2020 年 10 月 22 日(木)・23 日(金)

「商大附高祭」に替わり、外部非公開で実施した「商大附高展」の様子を、写真でお楽しみください。



▲ F 3 - 7 (装 飾)



▲ 3 年 進 学 文 系 (仮 装)



▲ 3 年 進 学 理 系 (仮 装)



▲ F 3 - 10



▲ F 3 - 11



▲ S 3 - 2



▲ F 3 - 5



▲ F 3 - 6・7・8



▲ F 2 - 1



▲ F 2 - 4



▲ S 3 - 1



F 2 - 9



S 2 - 2

▼ F 2 - 10



▼ F 2 - 3



▼ F 2 - 8



▲ F 2 - 12



▲ 1年特進・国際



▲ F 1 - 1

▼ S 1 - 1



▲ S 1 - 2

▼ S 2 - 1





野 球 部

バ
ト
ン
ト
ワ
リ
ン
グ
部



演
劇
部



茶 道 部



情 報 ボ ラ ン テ ィ ア 部



軽 音 楽 部

職 員 ア マ ビ エ コ ン テ ス ト



フ
エ
ン
シ
ン
グ
部



女
子
サ
ッ
カ
ー
部



応
援
同
好
会



漫
画
研
究
部



音楽部



囲碁部



家庭科部



写真部



華道部



社会部



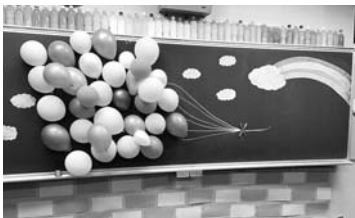
ボランティア部



理科部



美術部



英語部



書道部



文芸部



剣道部



吹奏楽部



ペップアーツ部



高崎商科大学附属高等学校 秋の風景

編集後記

1年前の同じ頃、その後の1年を誰が想像できたでしょうか。

緊急事態宣言が出され、3月・4月・5月は休校となり、学校行事や部活動関連の大会はほぼ中止。静かな1学期となりました。

しかし、幸いにも2学期以降は授業も部活動もほぼ平常に戻り、校内に落ち着きと活気が戻ってきました。そんな中での最大の懸案は「商大附高祭」開催の可否でした。新型コロナウイルス感染の可能性がある状況での開催には大きな

不安がありますが、生徒会役員を始めとする生徒たちの強い要望と熱意により開催に至りました。本誌面の写真から、その楽しい様子が伝わると思います。最悪の状況を考えて中止することもできましたが、感染対策や実施方法に工夫を凝らし成功に導いてくれた生徒たちから多くを教えてもらいました。

来年度の「商大附高だより」では、生徒たちの活躍で紙面が埋められることを心より願っています。
(教頭 大澤)